

証券コード 2452

2023年6月9日

(電子提供措置の開始日 2023年6月2日)

株主各位

神奈川県川崎市宮前区宮崎二丁目10番9号

コンピュータマインド株式会社

代表取締役社長 竹内 次郎

第46期定時株主総会招集のご通知

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当社第46期定時株主総会を下記の通り開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会の株主総会参考書類等（委任状用紙を除く）の内容である情報（電子提供措置事項）は電子提供措置をとっております。

【当社ウェブサイト】 https://www.cmind.co.jp/now_ir-info.html

上記の当社ウェブサイトへアクセスのうえ、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

また、上記のほかにも、インターネット上の下記ウェブサイトにも掲載しております。

【東証ウェブサイト】 <https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

（上記のウェブサイトへアクセスいただき、「銘柄名（会社名）」に「コンピュータマインド」

または「コード」に「2452」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類／PR情報」を順に選択のうえ、「基本情報」「縦覧書類／PR情報」を選択のうえ、ご確認ください。）

なお、当日ご出席されない場合は、後記参考書類をご検討下さいまして、**お手数ながら同封の委任状用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、ご押印のうえ、ご返送いただきたくお願い申し上げます。**

敬具

記

1. 日 時 2023年6月26日（月曜日）午前10時30分
2. 場 所 神奈川県川崎市宮前区宮崎二丁目10番9号 オーミヤ宮崎台ビル5F
当社本店会議室
3. 会議の目的事項
報告事項 第46期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の事業報告の内容の報告の件
決議事項
第1号議案 第46期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の計算書類の承認の件
第2号議案 剰余金の処分の件

以上

なお、当日ご出席の際は、お手数ながら同封の委任状用紙を会場受付にご提出下さいますようお願い申し上げます。

事業報告及び計算書類に修正が生じた場合には、インターネット上の以下の当社ウェブサイトにて、修正後の内容を掲載させていただきます。

当社ウェブサイト <https://www.cmind.co.jp/>

【添付書類】

事業報告

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

I. 株式会社の現況に関する事項

1. 事業の経過及び成果

【全体概況】

当事業年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症について、ゼロコロナ政策を続けた中国で経済活動の停滞が長期化したものの、欧米諸国を中心に行動制限の緩和が進み、景気は総じて回復に向かっております。一方、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響により、原材料価格・エネルギー価格の高騰が進行し、世界各国でインフレ基調にあります。

日本経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和と経済活動の正常化が進む中で、設備投資に持ち直しの動きが見られます。一方、原材料価格・エネルギー価格の高騰や為替変動など、依然として不透明な状況が継続しております。

当社の属する情報サービス産業においては、先端技術の普及やクラウドシフトを背景に、事業の強化や変革を推進するDX関連向けなどのIT投資へのニーズは底堅く、また、テレワークやリモート会議といった新しいビジネススタイルの導入を始めとする働き方改革が浸透し、これに対応するソリューションへの需要は高まりつつあるなど、受注環境は総じて堅調に推移しております。ただし、需要の拡大に対して開発リソースであるIT人材の確保・供給が追い付くかが課題となると考えられます。

当社においては、テレワークの導入等で経費削減の効果が表れているものの、新たな働き方改革で物と人に投資を行い、経営基盤を強化してまいります。

このような市場環境・経営環境の中で、当事業年度の売上高は361,674千円（前年同期比24.5%増加）、営業利益は45,032千円（前年同期は営業損失453千円）、経常利益は42,799千円（前年同期比652.0%増加）、当期純利益は31,409千円（同179.0%増加）となりました。

2. 対処すべき課題

当社の主要事業が属する情報サービス産業につきましては、企業のIT関連投資の潜在的なニーズはあるものの、経済環境の影響により、当該ニーズが顕在化しない状況が続いております。また、情報サービス業界には、大小を問わず多くの企業が参入しており、その競争環境は従来にも増して厳しい状況が続くものと予想されます。

このような環境のもと、顧客企業は品質やサービスにおいても高い水準を求める傾向があり、当社はそのような顧客企業のニーズを最大限満たせるよう、更なる経営管理体制の強化を図ってまいります。

また、今後の業容拡大を実現させるため、当社は優秀な人材の積極的な採用や教育研修制度を充実させるとともに、従業員のモチベーションを高める仕組み作りにも鋭意取り組んでまいります。また、企業規模が拡大する過程において、コーポレート・ガバナンスの充実及び強化も図り、透明性の高い経営を実践していく所存であります。

当社は今後も安定成長を目指すために、以下の事項を対処すべき課題と認識し、迅速に対処してまいります。

(1) 優秀な人材の確保

当社の業容を拡大するためには、優秀な人材の確保が必要であります。しかしながら、労働人口が減少する環境下において、首都圏では新卒採用及び即戦力である中途採用にて人材を雇用

することが難しくなっております。また、協力会社から技術者を確保することも、より一層困難となっております。

このような状況のもと、当社では採用活動をより一層強化するとともに、自社の知名度を高めるための施策も積極的に採用していく方針であります。

(2) 顧客満足度の更なる向上

当社の展開する各事業において、主要顧客とは長年取引を継続しております。つきましては、これら主要顧客と良好な関係のもと、取引を継続若しくは拡大していくためには、顧客満足度の更なる向上が必須となります。そのため、業務において品質を維持するだけでなく、顧客との対面でのコミュニケーションを重視し、機動力をもち小回りの利くサービスを提供していく方針であります。

(3) 収益力の増強

当社が展開する各事業においては、技術者一人あたりの売上額及び利益額が業容拡大の要となります。現在の主力事業であるIT関連事業におけるシステム開発業務及び、運用支援業務では、人材確保が厳しい状況にあるため、成長性に制限のある状態が続いております。そこで、長年に渡り培った当社内における知識、技術及びノウハウ等を活用し、技術者のスキルを高めることで、一人あたりの売上額及び利益額を継続的に伸ばしていけるよう取り組んでいます。

(4) 安定的な収益基盤の確立

当社の主力事業の一つであるシステム開発業務は、企業のIT投資計画の需要に影響を受ける傾向があります。また、企業のIT投資計画は一般的に景気動向の影響を受けるとされております。そのため、当社では顧客のIT投資計画を共有することにより、より安定的な受注の確保を行い、景気動向の影響を受けづらい収益基盤の構築を図ってまいります。

また、当社のもう一つの主力事業である運用支援業務は、比較的景気の変動を受けにくい傾向があるため、今後も安定的な拡大を実現できるよう取り組んでいます。

(5) 内部管理体制の強化について

当社は、比較的小規模な組織であるため、継続的な成長を実現できる企業体質を確立する必要があります。そのため、リスク管理や業務運営管理をはじめとする内部管理体制の強化が重要な課題であると認識しております。今後の企業規模拡大に備え、内部統制管理体制の整備と適切な運用を推進し、経営の公正性及び透明性を確保するため、体制強化に取り組んでいます。

3. 設備投資の状況

特記すべき事項はありません。

4. 資金調達の状況

特記すべき事項はありません。

5. 財産及び損益の状況の推移

(単位：千円)

	第43期 2020年3月期	第44期 2021年3月期	第45期 2022年3月期	第46期 2023年3月期 (当事業年度)
売上高	404,533	276,865	290,387	361,674
経常利益又は経常損失(△)	△21,340	△12,188	5,691	42,799
当期純利益又は当期純損失(△)	△23,323	△13,018	11,258	31,409
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△52円12銭	△29円09銭	25円16銭	70円19銭
総資産	298,860	282,738	248,171	290,353
純資産	112,862	101,265	112,831	140,634

(注) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)は、期中平均株式数により算出しております。

6. 重要な子会社の状況

会社名	資本金	当社の出資比率	主な事業内容
コンピュータマインド エナジー1株式会社	10千円	100%	実証実験業務における船舶操船等受託業務

7. 主要な事業内容

- (1) メディア系システムサーバAP製造
- (2) メディア系システムクライアントAP製造
- (3) メディア系システムユーザ導入支援業務
- (4) システムインテグレーション
- (5) アウトソーシング
- (6) ソフトウェアの設計・開発・販売・保守
- (7) パソコン教室の運営及び経営
- (8) 自然エネルギー等を利用した発電設備の開発、工事の設計並びに販売と売電
- (9) 有機低温熱分解装置の開発、製造並びに販売
- (10) 緊急地震速報システム、緊急災害用無線機、並びにこれに関連する装置の販売業務
- (11) マリン・レジャー、関連施設等の運営
- (12) 上記各号に付帯する一切の事業

8. 主要な事業所

本社 神奈川県川崎市宮前区
 沖縄ブランチオフィス 沖縄県那覇市
 荻窪サテライトオフィス 東京都杉並区

9. 主要な借入先

2023年3月31日現在

借入先	借入額 (千円)
川崎信用金庫	77,732
株式会社商工組合中央金庫	5,152
株式会社さらぼし銀行	1,000

10. 従業員の状況

2023年3月31日現在

従業員数(名)	前期末比増減数	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)
18 (9)	△2 (-)	45.2	10.8

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は、最近1年間の平均人員を () 外数で記載しております。

II. 株式会社の株式に関する事項 (2023年3月31日現在)

1. 発行可能株式総数 普通株式 1,740,000株
2. 発行済株式の総数 普通株式 447,500株 (自己株式2,500株除く)
3. 株主数 70名
4. 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
竹内 次郎	289,500株	64.7%
松沢 献一	36,000株	8.0%
東 時生	30,000株	6.7%
小木曾 有夏	24,000株	5.4%
黒木 誠	20,000株	4.5%
株式会社E-Light	11,100株	2.5%
竹内 節子	5,000株	1.1%
飯塚 紀夫	2,000株	0.5%
井上 健志	2,000株	0.5%
小林 朋寿	2,000株	0.5%

(注) 持株比率は発行済株式数より自己株式数 (2,500株) を控除して計算しています。

Ⅲ. 株式会社の会社役員に関する事項

1. 取締役及び監査役の氏名等（2023年3月31日現在）

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役	竹内 次郎	
取締役	松沢 献一	IT関連事業担当
取締役	小木曾 有夏	財務・総務担当
監査役	大場 衛	

(注)大場衛氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

2. 当事業年度に係る取締役及び監査役の報酬等の額

区分	支給人員	報酬等の額
取締役	3名	30,723千円
監査役 (うち社外監査役)	1名 (1名)	4,080千円 (4,080千円)
合計 (うち社外役員)	4名 (1名)	34,803千円 (4,080千円)

3. 社外役員に関する事項

(1) 重要な兼職先である他の法人等と当社との関係

該当事項はありません。

(2) 主要取引先等特定関係事業者との関係

該当事項はありません。

(3) 当事業年度における主な活動状況

区分	氏名	主な活動状況
監査役	大場 衛	当事業年度に開催された取締役会には17回中17回出席いたしました。経営者としての長年の豊富な経験に基づく高い見識から、取締役会において適宜適切な発言を行っております。

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	217,996	流動負債	86,821
現金及び預金	154,185	買掛金	12,868
売掛金	56,767	1年以内返済予定の長期借入金	22,904
契約資産	2,892	未払金	2,161
商 品	60	未払費用	15,757
貯 蔵 品	15	未払法人税等	8,340
前払費用	1,542	未払消費税等	9,772
短期貸付金	1,054	預り金	549
未収入金	1,118	賞与引当金	14,467
立替金	568	固定負債	62,897
仮払金	150	長期借入金	60,980
貸倒引当金	△357	資産除去債務	1,917
固定資産	72,356	負債合計	149,718
有形固定資産	1,703	(純資産の部)	
建 物	1,584	株主資本	139,580
建物附属設備	1,905	資本金	35,000
船 舶	27,777	資本剰余金	15,000
車両運搬具	4,282	資本準備金	15,000
工具器具及び備品	1,565	利益剰余金	90,830
減価償却累計額	△35,411	利益準備金	1,590
無形固定資産	9,485	その他利益剰余金	89,240
の れ ん	8,766	繰越利益剰余金	89,240
電話加入権	358	自己株式	△1,250
ソフトウェア	360	評価・換算差額等	1,053
投資その他の資産	61,167	その他有価証券評価差額金	1,053
投資有価証券	6,576	純資産合計	140,634
出 資 金	111		
保険積立金	42,290		
敷金及び保証金	5,594		
長期貸付金	17,148		
預 託 金	511		
繰延税金資産	2,582		
貸倒引当金	△13,647		
資 産 合 計	290,353	負債・純資産合計	290,353

損益計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		361,674
売 上 原 価		230,170
売 上 総 利 益		131,503
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		86,471
営 業 利 益		45,032
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	279	
助 成 金 収 入	667	
受 取 保 険 金	120	
そ の 他	20	1,088
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	853	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	2,468	3,322
経 常 利 益		42,799
税 引 前 当 期 純 利 益		42,799
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	8,341	
法 人 税 等 調 整 額	3,048	11,389
当 期 純 利 益		31,409

株主資本等変動計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他 利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	35,000	15,000	15,000	1,590	61,411	63,001
当期変動額						
剰余金の配当					△3,580	△3,580
当期純利益					31,409	31,409
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						
当期変動額合計	—	—	—	—	27,829	27,829
当期末残高	35,000	15,000	15,000	1,590	89,240	90,830

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△1,250	111,751	1,080	1,080	112,831
当期変動額					
剰余金の配当		△3,580			△3,580
当期純利益		31,409			31,409
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	—	—	△26	△26	△26
当期変動額合計	—	27,829	△26	△26	27,802
当期末残高	△1,250	139,580	1,053	1,053	140,634

個 別 注 記 表

(重要な会計方針に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定）を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) 棚卸資産

商品

先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定）を採用しております。

貯蔵品

先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定）を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

建物附属設備	10年
船 船	2年
車 両 運 搬 具	6年

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込み額に基づき、当期に対応する金額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社の主要な事業における顧客との契約から生じる収益に関する主な履行義務の内容及び収益を認識する通常の時点については、以下に記載の通りであります。

(1) 受注制作のソフトウェア

IT関連事業における受注制作のソフトウェアにつきましては、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識しております。

なお、履行義務の充足に係る進捗度の見積りの方法は、見積総原価に対する実際原価の割合（インプット法）に基づき算出しております。

(2) 運用支援業務での収入

IT関連事業における運用支援業務での収入につきましては、契約期間にわたり履行義務が充足されるため、役務を提供する期間にわたり収益を認識しております。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) のれんの償却方法及び償却期間

投資効果の発現する期間を合理的に見積り、その見積期間に応じて均等償却しております。ただし、金額的に重要性がないものについては発生時に一括償却しております。

(2) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、計算書類に与える影響はありません。

(収益認識に関する注記)

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載の通りであります。

(貸借対照表に関する注記)

関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権 244千円

長期金銭債権 16,421千円

短期金銭債務 547千円

(損益計算書に関する注記)

関係会社との取引高

営業取引による取引高の総額 5,838千円

営業取引以外の取引高の総額 242千円

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 発行済株式の総数に関する事項

- (1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び数：普通株式 450,000株
(2) 当事業年度末における自己株式の種類及び数：普通株式 2,500株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額等

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2022年6月27日 定時株主総会	普通株式	3,580	8.0	2022年3月31日	2022年6月28日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2023年6月26日 定時株主総会	普通株式	8,950	利益剰余金	20.0	2023年3月31日	2023年6月27日

(税効果会計に関する注記)

(繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳)

繰延税金資産

未払事業税	749千円
貸倒引当金	4,582千円
賞与引当金	4,858千円
資産除去債務	643千円
その他	3千円
繰延税金資産小計	10,837千円
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	△5,229千円
評価性引当額小計	△5,229千円
繰延税金資産合計	5,607千円
繰延税金負債	
のれん	△2,492千円
その他有価証券評価差額	△532千円
繰延税金負債合計	△3,025千円
繰延税金資産純額	2,582千円

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、また、資金調達については銀行等の金融機関からの借入及び新株発行による方針であります。また、デリバティブ取引に関しては行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金は顧客の信用リスクに晒されております。

投資有価証券は、投資信託であり、市場価値の変動リスクに晒されております。

営業債務である買掛金等は、そのほとんどが3ヶ月以内の支払期日であります。

借入金は、そのほとんどが営業取引に係るもので、金融機関からの借入により資金調達をおこなっており、変動金利の借入金は金利の変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

営業債権である売掛金等については、経常的に発生しており、担当者が、所定の手続きに従い、債権回収の状況を定期的にモニタリングし、支払遅延の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。特に金額等の重要性が高い取引については、取締役会において、取引実行の決定や回収状況の報告などを行います。

② 市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

投資有価証券については、定期的に時価を把握し、市況を勘案して保有状況を継続的に見直しております。

③ 資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

買掛金については月次単位での支払予定を把握するとともに、手許流動性の維持などにより流動性リスクを管理しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2023年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、以下の通りであります。

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
投資有価証券			
その他有価証券	6,576	6,576	—
資産計	6,576	6,576	—
長期借入金（1年内返済予定を含む）	83,884	83,933	49
負債計	83,884	83,933	49

(注) 「現金及び預金」、「売掛金」及び「買掛金」については、現金であること及び短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(関連当事者との取引に関する注記)

種類	会社等の名称 又は氏名	議決権等の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
子会社	コンピュータマインド エナジー1株式会社	(所有) 直接 100.0%	役務の提供 役員の兼任	—	—	長期貸付金	16,421
				利息の受取	242	立替金	244

(注) 長期貸付金の利息は、市場金利を勘案して決定しております。

(1株当たり情報に関する注記)

- 1株当たり純資産 314円27銭
- 1株当たり当期純利益 70円19銭

監査報告書

私は、2022年4月1日から2023年3月31日までの第46期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その結果につき以下の通り報告いたします。

1. 監査役の監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人と意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めるとともに取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料等の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2023年6月1日

コンピュータマインド株式会社

監査役 大場 衛 ㊞

議決権の代理行使の勧誘に関する参考書類

1. 議決権の代理行使の勧誘者

コンピュータマインド株式会社 代表取締役 竹内 次郎

2. 議案及び参考情報

第1号議案 第46期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の計算書類の承認の件

会社法第438条第2項の規定に基づき、当社第46期の計算書類の承認をお願いするものであります。議案の内容は、添付書類（8頁から16頁まで）に記載の通りであります。

取締役会といたしましては、第46期計算書類が、法令及び定款に従い、会社財産及び損益の状況を正しく示しているものと判断しております。

第2号議案 剰余金処分の件

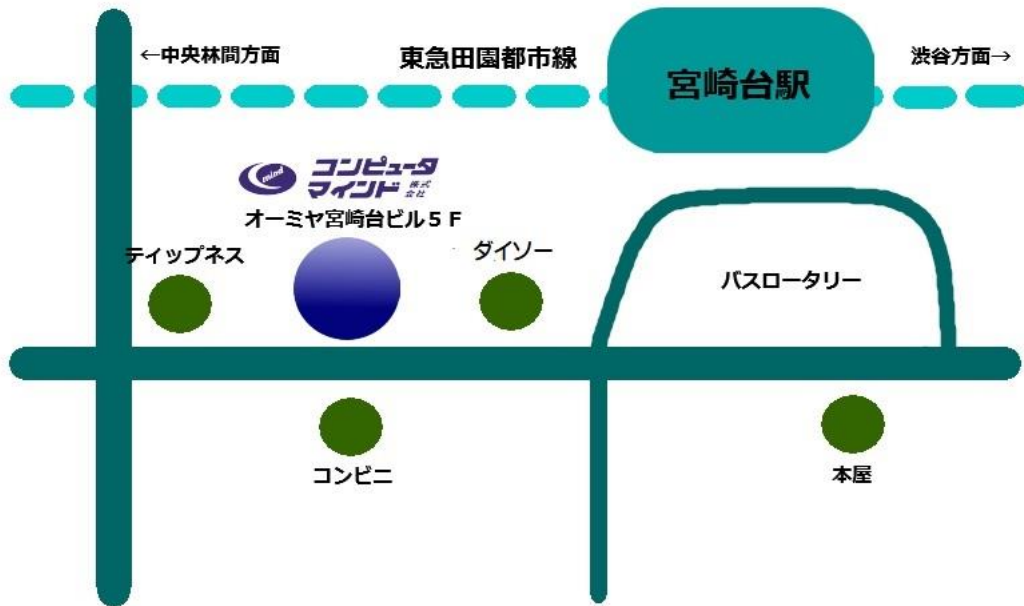
利益配当金につきましては、当期の業績と今後の展開を勘案いたしまして、以下の通りとさせていただきます。

- ① 配当財産の種類
金銭とする。
- ② 株主に対する配当財産の割合に関する事項及びその総額
普通株式1株につき金20円、総額8,950千円
- ③ 剰余金の配当が効力を生じる日
2023年6月27日

<会場へのご案内>

(住所) 神奈川県川崎市宮前区宮崎2-10-9 オーミヤ宮崎台ビル5F
コンピュータマインド株式会社
TEL 044-856-9922

(地図)



【最寄り駅】 田園都市線 宮崎台駅 徒歩2分